

ももが行くほっかいどう

くいしん坊のスロー旅

vol. 77

穫れたてを料理して食べてもらいたい。
夢を叶えた農家の巻



収穫体験した野菜が夕食メニューに

今回のスロー旅は遠軽町白滝へ。農家民宿とレストランTORETATTEを営む、えづらファームの江面暁人さんと陽子さんご夫妻を訪ねました。

駅から五分、山々にぐるっと囲まれた素晴らしい風景が広がる場所にえづらファームがあります。様々な畑ツアーを行っているので体験させていただきました。軽トラに乗って農道を走り、景色を堪能しながら、野草についてのレクチャーを受けたり、最新装備のトラクターに試乗して畑を走ります。そして、TORETATTEで使う野菜を育てているハウスの中で収穫体験。この日は花ズッキーニときゅうりを収穫。最後は宿まで麦畑の中を歩いて帰りました。

夕食はレストランで、農園の野菜を中心に地元の食材で構成された前菜からデザートまでの約七品。収穫したきゅうりはサラダに、花ズッキーニはフライになりました。陽子さんが腕を振るう、シンプルだけど野菜のおいしさを生かしたお料理です。また地域のじゃがいも料理コンテスト「じゃがりんピック」で金賞に輝いたレシピもメニューに、「学生の頃からお客様が収穫したものをを使った料理を提供したいと思っていたんです」という陽子さん。暁人さんと新規就農し、その夢を実現させました。スタッフも増えさらに楽しくて美味しい農園オーベルジュへと進行中です。



●文・絵／すずきもも

イラストレーター&絵本作家。さまざまな媒体のイラストやエッセイ、絵本の執筆などで活躍。札幌市在住。



えづらファーム

紋別郡遠軽町白滝北支湧別152-3

(JR白滝駅下車、車で約5分・徒歩約40分(約3キロ))

TEL:0158-48-2050 www.ezurafarm.com

※レストランの一般利用は、6名以上での貸切ランチの他、不定期のイベントも。普段は宿泊利用者のレストランとなっています。

農家は素敵で楽しいこと

五十七ヘクタールの畑を小麦、じゃがいも、甜菜、ブロッコリーなどを栽培しているえづらファーム。二〇代だった二〇〇九年に東京で結婚し、北見の農業法人で一年、白滝で二年の農業研修を受け、二〇一二年に新規就農。曉人さんは東京でものすごく忙しい仕事の日々を送っていた頃、陽子さんと出会い、お互いの夢が農家になることだったのが決め手となり、結婚したのだそう。そんな相思相愛の二人が描いたのは「農家であることが素敵なこと、楽しいことだとたくさんの人に知ってもらおうこと」と言います。

年間約五十人以上のボランティアスタッフを募り、たくさんの人たちと関わりを広めています。それが地域人材につながることも。農園スタッフの相川亮太さん（あいはりょうた）もそのひとり。学生の時に北海道の広大な農地に憧れ、えづらファームの心地よさに何度も訪れ、一度就職したものの農園スタッフに。昨年パートナーの珠優さん（あきゆう）も移住し、ともに農園を支えています。

朝食はレストランでバイキング。トレーラーハウスに宿泊の海外からのご家族と一緒に。なぜかシンガポールからのお客様が多いんですという陽子さん。二人とも英語が堪能なので、受け答えもスムーズです。きつとえづらファームだからできる農業体験と心地よさが、人から人へ伝わっているのでしょう。国内外を問わず、人を惹きつけてやまないえづらファームです。①